



ボランティア・市民活動情報誌 OITA ほらのたね

URL ☎ <http://www.coara.or.jp/~oitavoc/> E-mail ✉ oitavoc@fat.coara.or.jp

発行所

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
大分県ボランティア・市民活動センター
〒870-0907
大分市大津町2丁目1番41号

お問合せ先

TEL(097)558-3373
FAX(097)558-1296

2005 JULY

No.1



大分県ボランティア・市民活動センターです

県ボラへの行き方



正面玄関



受付



自販機とレストラン



県ボラ事務局

よろしくお祈いします!!

みなさん初めまして！県ボラ情報誌「ほらのたね」です。ようやくこのような形でみなさんに情報を発信することができるようになり、とてもうれしく思います。「ほらのたね」というタイトルは「みんなでボランティアの種をまいて育てよう」という意味を込めて名付けました。これから、みなさんと一緒に土を耕し、種をまき、水や肥料をあげて、いつの日か大分県内にボランティアのいろいろな色の花や、いろいろな形の実を成らせましょう。今号はその「はじめの一步」です。

この情報誌の発行元は、大分県社会福祉協議会 大分県ボランティア・市民活動センター(県ボラ)という機関です。県ボラってなに？というみなさん、次のページでは県ボラではどんなサポートをしているのかをご紹介します。

県ボラ職員紹介



神本(所長)

以前から情報誌を発行したいと考えていましたが、この度ようやく発行する運びとなりました。HPによる情報発信とともに、この情報誌を通じボランティア活動の「種」をお届けします。皆さんも活動の「種」になる情報をお寄せください。



村野(専門員)

昨年頃から仕事に追われ、机の周りが書類やデータで山積み状態です。整理が上手な方、ボランティアしてみませんか？



井出(副主幹)

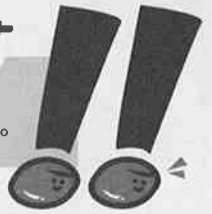
今はまっていることはいろいろな地域に出かけ美味しい物を食べることです。面白い「まちづくり」やこんな店もあるヨって教えてください。



三浦(専門員)

広報担当です。「見える・使える県ボラ」を目指して、今年度はよりいっそう発信していきます！！がんばります(^^)

大分県ボランティア・市民活動センターはこんなことしてます



県ボラっこ ボランティア・市民活動に取り組むみなさんを幅広く支援するための中心的な機関です。

相談・支援

ボランティアをやってみたいけどどんな活動があるの？活動中にこんなことに困っている・・・など、何でもご相談ください。アドバイスいたします。

※お住まいの地域の市町村社会福祉協議会でも相談を受け付けています。

啓発・普及

「夏のボランティア体験月間」の実施や、「大分県ボランティア・市民活動推進大会」の開催などを通して、ボランティア・市民活動をみなさんに広く知ってもらうための取り組みをしています。

研修・講座

各種研修会や講座を開き、大分県のボランティア・市民活動を支援します。

(例) 企業・団体向け研修会、福祉ボランティア組織づくり支援講座、ボランティアリーダー研修会 etc

その他

福祉教育への支援、市町村社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターの支援、研修会での講師の紹介、大分県ボランティア連絡協議会の支援など

あなたのお役に立ちたい県ボラです。上記内容について詳しく知りたい方はお気軽にご連絡ください。



情報の収集・提供

みなさんの活動に役立つ情報をたくさん集めて提供しています。ビデオの貸出しやインターネットでの情報発信もしています。

県ボラHP <http://www.coara.or.jp/^oitavoc/>
 おおいたNPO情報バンクONPO(おんぼ) <http://www.onpo.jp>



ボランティア保険

ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険など各種保険を取り扱っています。安心して活動するためにも加入をおすすめします。

ボランティア・市民活動ルーム

作業やミーティングのできる部屋を用意しています。利用料は無料ですが、印刷機材の利用は有料です。



数字で見る 県ボラ

インターネットによる情報提供利用数 **のべ16155件**

もっとも利用数が多かったのは10月で1741件。昨年10月は新潟県中越地震が発生し、救援物資や義捐金などについての情報を知りたいと思う人が多かったためと考えられます。

新規ボランティア登録者数 **75名(男性23・女性52)**

登録する人が最も多かったのが4月。春は何かを始めたくなる季節！登録者の年代別内訳では10代と20代が各27名ずつで最も多く、若い世代のボランティア活動に対する意識の高さを感じられます。

ボランティア活動人数 **のべ497名**

活動人数が最も多かったのは3月。これは別府市内で「第10回きょうされん九州ブロック学習交流会大分大会」が開催され、2日間で延べ159名が参加したためです。みなさん、お疲れさまでした！

ボランティア依頼件数 **94件**

もっとも依頼が多かったのは8月。イベントや福祉施設のお祭りなどに多くのボランティアを要請されるケースが見られました。

※すべて平成16年度の統計です。



災害ボランティア NEW WIND

Vol.1

今回のお題

災害時要援護者(災害弱者)

▼「災害時要援護者」あまり聞きなれない言葉だと思います。しかし、昨年特に一部の人たちの間では、とても重要視される言葉になっていました。以前は、「災害弱者」という言葉を使っていた。今何故この言葉が取り沙汰されているかという、昨年起こった災害でお亡くなりになった方々と約九パーセントの方が、この災害時要援護者と言われる方々だったからです。▼それでは、災害時要援護者とはどういう方々のことなのか？今日は、みなさんと一緒に考えながら話を進めてみたいと思います。一般的には、日頃からサポートが必要な方や高齢者等、移動が困難であったり、情報を自ら入手できない方、また、入手したとしても自ら判断できない方々も入ります。そのほか、日常生活においては何の不都合がなくても、災害時という特殊な状況下において不利になる方。たとえば、通常服用している薬によって普通の生活を営むことが出来ていても、その薬が服用できなくなることで生命の危険が伴うというような方も、災害時要援護者といえるということ。普段は、まわりのサポートや準備によってつつがなく日常が営まれていても、いざ災害となると日常のシステムが機能しなくなり、取り残されてしまい被害を受けやすいのです。▼みなさんにも一緒に考えて欲しいと思つたのは、一般的に前述した方々のことだけではないのだからか？ということ。私が「災害時要援護者」を今回のお題にわざわざあげたのは理由があります。まず第一の理由は、みなさんも「災害時要援護者」になりうるということ。具体的な例を挙げますと、就寝中に災害(地震)が起こり、タンスが倒れて足

の上を直撃しました。なんとか腕の力でタンスをどけて出ることができたが、足が動きません。骨折しているようです。強靱な若者で普段は地域で頼りにされている男性でも、このような状態になりますと彼も「災害時要援護者」になり、誰かのサポートがなければ、避難する事も出来ないのです。「災害時要援護者」は誰もがなりうることであり、災害が起こる前から準備しておくことや、それにむけたさまざまな行動が必要なのです。▼第二の理由としては、日頃からサポートが必要な方は、やはりなんらかのサポートが必要になるということ。ただ、通常サポートしている方が携われるかという、必ずしもそうではありません。むしろ不可能だといつていいでしょう。そうなると必要になってくるのは、生活を行っている地域でのサポートです。日頃は近所に住んでいるというだけで、接点がないかもしれせんし、お住まいになつていないことさえ知らなかったというような被災地からの報告もあります。ここでみなさんに一緒に考えていただきたいのは、支える仕組みを地域でどのように作つてお



新潟県中越地震での避難所の様子

くかということ、当事者側の主体的な対策と地域との関わり合いです。一般の方には、具体的にどのような場面で何に困るのか？それに対して、自分たちはどの範囲までサポートできるのかということがイメージできないという問題があります。災害直後は身近な地域に住む方々の支援が不可欠であると考えると、これらの方々に必要な支援をイメージし、理解してもらつておく必要があります。▼まだまだ、問題とするべきところはたくさんありますが、紙面の関係もありまして今回はこのくらいにしたいと思つています。大分県では、冒頭に述べた「災害時要援護者」の命を守る対策として、みなさんにわかりやすく支援のイメージをしていただくためのマニュアル作りを現在行つています。大分県と大分県社会福祉協議会が協議しながら、しよがい者団体や通常サポートを行っている団体等からの意見もいただき、みなさんの地域で前もって話し合つておいて欲しいことや、被災地からの教訓、豆知識などを盛り込んだ内容に仕上げていく予定です。ぜひ活用され、安心していつまでも住まえる地域を、みなさんの手で作り上げて欲しいと思つています。▼繰り返しになりますが、サポートが必要な「災害時要援護者」には、誰もがなりうることを理解していただき、サポートを必要としないための対策を、個人で、家族で、地域で話し合つておくことが必要です。地域で安心して暮らしていくためには、地域の弱い部分(地形・地域性等も考慮して)を明確にし、対策を講じておいて欲しいと思つています。これらに関して、大分県ボランティア・市民活動センター(大分県社協)は、大分県や県下各市町村の行政や社協と連携して、一緒に考えていきたいと思つています。

ぼらねた

ボランティア・市民活動に役立つマメ知識

日水化学工業(株) アクアブロック
URL <http://www.aquablock.jp/index.htm>

わずか厚さ2mm
400gの麻袋



20kg!!

こんな水の流れも



確実に塞ぎ止めます

いよいよ梅雨・台風シーズンが到来。そんな季節の強い味方、土を使わない吸水性土の「アクアブロック」のご紹介です。

昨年は多くの台風が日本に上陸しました。その数、なんと10個。上陸数の年平均値が2.6個なのでいかに多かったかが分かります。住家被害は床上浸水48,062棟、床下浸水98,812棟に上っており(平成16年消防白書)、被災地では多くの災害ボランティアも活動しました。

アクアブロックは紙おむつと同じ素材の高吸水性ポリマーを利用し、通常は厚さ2mm程度ですが、水に浸けると3分程度で約20kgの土のうとなり使用できます。また使用後に自然乾燥させることにより再利用が可能!お得ですね。

アクアブロックをはじめ、様々な防災グッズが市販されています。各家庭で準備し、各種災害に備えましょう。

ボラけいじばん

ここにこ健康づくり教室
継続可能な方大歓迎!!
 NPO法人ここにこフィットネス協会では保育ボランティアを募集しています。
 教室には子育て中のお母さんたちがリフレッシュのために多数参加しており、その間、子どもの保育をしてくれるボランティアを募集しています。経験や資格は問いません。

保育ボランティア募集

- 活動内容** ここにこ健康づくり教室参加者の子どもの保育
- 活動日時** 毎週月曜日
AM10:00~12:00
- 活動場所** 大分市青葉町
大洲総合運動公園内
大分県総合体育館 託児室
- 募集人数** 4、5名
- 備考** ・毎週活動できなくてもOKです。
・交通費補助として500円支給します。

問い合わせ先
 ここにこフィットネス協会
 TEL(097)546-9688 [FAX兼用]
 [担当:小畑]



福祉ボランティア専門研修実施団体募集
 大分県ボランティア・市民活動センターでは、より高い専門性をもった人材を育成することを目的として、ボランティア・NPO団体の活動の充実、活性化を図るため「福祉ボランティア専門研修」の実施団体を募集しています。

詳しい募集内容については県ボラまでお問い合わせいただくか、県ボラHPをごらんください。
 HPから応募書式のダウンロードもできます。

- 応募資格**
1. 団体等は非営利団体であること。ただし、法人格の有無は不問。
 2. 応募しようとする事業と関連する活動を実施していること。
 3. 県内に主たる活動拠点があり、原則として1年以上の活動実績があること。
 4. 10人以上の会員(構成員)があること。

委託金額
 委託金額は、1団体30万円(消費税込)を上限とします。ただし、応募の状況により、1団体の委託金額を減額し、委託団体を増加することがあります。

委託予定団体数 9団体

募集締切 平成17年7月29日(金)
 (*当日消印有効)

第14回 全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと
ボランティア・市民活動メッセージコンクール 作品募集中

テーマ
 私のボランティア・市民活動とコミュニティ

応募資格 個人でも団体でも可

募集締切
 平成17年7月31日(日)消印有効

賞(予定) 優秀賞 = 4作品程度
 (副賞:活動奨励金(10万円))
 佳作 = 若干数(記念品)

発表 平成17年10月29日(土)
 「第14回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと」開会式にて発表します。

事務局/応募・問い合わせ先
 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター
 「ボランティア・市民活動メッセージコンクール」係
 〒100-8980
 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
URL
<http://www3.shakyo.or.jp/cdvc/volunteer/festival/index.html>
 (HPから応募票をダウンロードできます。)

収集

ボランティアさんいつもありがとう

使用済みテレホンカード、使用済み切手、書き損じハガキの収集、使用済み切手の整理にご協力していただいた皆さんをご紹介します。(敬省略)

- 清末 重乃 ●中園 順子 ●平田 敏二 ●別府市立春木川小学校 児童会 ●山香町立山浦小学校 児童会 ●国東町立大恩小学校 ●岩田町静潮会 ●手話サークルはぐるま夜の部 ●九州石油労働組合 ●(社)大分郡市医師会 ●九電工労働組合 ●多摩化学工業(株)大分工場 ●大分合同新聞社 おおいた女性倶楽部 ●特別養護老人ホーム 光明園 ●鶴見町社協 ●大分県社会福祉介護研修センター

募
 見・ご感想、情報の提供などをお待ちしています。おたより・メールは「大分県ボランティア・市民活動センター」ほらのたね係」までお送りください。

情報誌「ほらのたね」では、読者のみなさんからの意

ボランティア・市民活動についてのご相談・お問合せは...

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 **大分県ボランティア・市民活動センター**

- 開所時間**
 月曜日~金曜日 8:30~17:15
 〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号
 TEL(097)558-3373・FAX(097)558-1296
- ボランティア・市民活動ルーム開室時間**
 月曜日~土曜日 9:00~20:30
 日曜日、水曜日 9:00~17:00
 平日の17:00以降及び土、日、祭日は事前に予約

<http://www.coara.or.jp~oitavoc/> E-mail:oitavoc@fat.coara.or.jp

編集後記

創刊号はいかがでしたか? ボランティア活動が好きな人、そしてまだその奥深さを知らない人にも、改めて県ボラについて知ってもらえたでしょうか。
 この情報誌はこれからもみなさんと一緒に作っていきたく思いますので、県ボラともどもよろしくお願います!次号は9月下旬発行予定です。